

渋谷直角のオシャレ偉人伝

絵と文／渋谷直角

エンペラース・クロゼット

あの人はなんでカッコいいのか？をテーマに、大人になりきれないアラフォー少年、渋谷直角さんが各界の“エンペラー”を直撃する新連載。ファッション&モノにまつわるエピソードを語り尽くしてもらいます。第2回目は、'90年代代官山のUKレジェンドが登場!!



Ready Steady Go! 代表
後藤田 和仁 さん



UKストリートカルチャーをいち早く日本に紹介した偉人



皇帝の寵愛品 ①
レディステディゴー!のフライトバッグ

プリティッシュ・エアウェイズのフライトバッグをベースに型から起こし、ロゴをON。当時中高校生がみんな憧れた伝説的ヒット作。



皇帝の寵愛品 ②
クロームのチャッカブーツ

ポール・ウェラー氏がディレクションした英国靴ブランド「クローム」のチャッカブーツ。日本では唯一、レディステディゴー!が輸入。



皇帝の寵愛品 ③
レディステディゴー!のクレイジーブレザー

英国のスクールブレザーを仕立てる工場の生地見本用ミニブレザーを「そのまま大きくして」と無理矢理オーダー。英国でも話題に。



皇帝の寵愛品 ④
セディショナリーズのTシャツ

ヴィヴィアン・ウエストウッドらが手掛けた伝説的なブティック発のパンクなTシャツ。モチーフは……、ここじゃ言えません(笑)。



PROFILE●しぶやちよっかく／2000年代にカルチャー誌「リラックス」で雑誌のライターをしながら、漫画も描き始めた。TVドラマ化された話題となったシリーズの最新刊『続 デザイナー渋谷直人の休日』(文藝春秋刊)好評発売中!

本場のパンクスやスキんズってだいぶ怖そう。『怖かった(笑)。ブライアンはスキんズは引退して、経営者になってたからマイルドでしたけど。そこに来るお客さんは怖かったですよ。編み上げのブーツを履いて蛇腹のサスペンダーにボラーハット。夜一人じゃ歩けないくらい怖い時代でしたね』
大きな出会いだったのは、ダフアー・オブ・セントジョージだ。『買い付けしてる時にたまたま知りました。最初はデッドストックに自分らのタグをシールで付けてるような、まだまだ若いブランドだったんですけど。徐々に成長して、ポートベローにお店を出したから、私も、ダフアー。を取り扱うようになったんです。彼らは年下ですが、みんな個性的でカッコよかったです。2年もするとSOHOに出すくらい人気ブランドになって。ダフアー。を取り扱えたのは幸運でした』
『ダフアー。のお店では、憧れの、モッド、ファザーこと、ポール・ウェラーにも遭遇。』
『当時のモッズカルチャーの象徴ですよ。お店に行ったら買い物して、恐る恐る頼んでみると、気前よくサインしてくれましたね(笑)。そんな縁もあり、彼がディレクションする英国靴ブランド「クローム」の靴を日本で唯一輸入していたんです』

モッズスキんズ。パンクス。混沌の80年代UKから全てはじまった。

後藤田さんが自分の目と足で見つけたアイテムをセレクトしたレディステディゴー!。やが

ジャケットやステンカラーコート。ロゴ入りのフライトバッグもそうです。当時は「メイド・イン・イングランド」で作ることにもこだわっていました。

てヒット商品も出てくる。『ダフアー。はじめ、ロークのキルトタッセル、パトリック・コックスのローファー。どれも当時、このお店にしか売ってなかった。』
『当時直輸入で売ってるところはなかったです。モッズに憧れる若者もたくさん来てくれて、だんだんオリジナルアイテムも作れるようになった。スクール

「売れるものより自分が売りたいものに執着してきただと思えます。いわゆる経営者、にはなれない人間ですね」
ファッション・アディクト。後藤田さんらしい生き方だと思う。



モッズの象徴
ポール・ウェラー氏
スターから36年。代官山の店は閉めたものの、レディステディゴー!はよりパーソナルなブランドとして

レディステディゴー!の思い出

高校3年のときに同学年の女の子を好きになった。モデルのりょうみちなルックスの子で、その子はレディステディゴー!のカーディガンとロゴTシャツを着ていた。もう「レディステディゴー!着てさ!」ってだけで「趣味合う!運命や!」と思っこんで、ムカミに思い続けた。卒業ギリギリ前にちょっとだけ話さずして、そこから1年くらいかけてがんばらして、何とか彼女とつき合うことができた。すぐフラレたけどな…!

「ロクパット」も彼女が最初使ってたのが、ロクパットで僕も買った。*この話に後藤田さんはカンドーして来たよ!」

感謝してる!幸せに生きてく!!

ドクマーマンもレディステディゴー!のイメージを買った!」

「white」社のマーンは、トウが丸くてかわいかった

「パン・シャーマン」の、赤いギンガムチェックも着ていました